

研究に関するお知らせ

腸チフス・パラチフス診断予測因子の検討 ～比較的徐脈、好酸球減少～

掲示開始日：2016/1/12

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際感染症センターでは以下に説明する研究を行うことを計画しています。

この研究への参加を希望されない場合にはこの研究に診療情報を使用することはありませんので、下の問い合わせ先にお申し出下さい。お申し出頂いても、不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、未成年者の場合は成人代諾者からの問い合わせ、同意撤回に対してもご対応させていただきます。

この研究に参加頂きました方々の個人情報の保護やこの研究の独創性確保に支障のない範囲で、ご希望により、この研究の計画書や研究の方法に関する資料のご閲覧や文章でのご提示が可能です。ご希望される場合は、ご遠慮なく下記お問い合わせ先にお申し付け下さい。

■ 研究の対象となる方

2006年1月～2015年10月までに当センター国際感染症センターのトラベルクリニックを受診し、腸チフス、パラチフスと診断された方、および熱帯・亜熱帯地域から帰国し、発熱を訴えて受診し、採血を採取された方。

■ ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療で使用した診療録情報を研究に使用させていただきます。政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に関しても個人が特定されない形式で行います。

■ 研究の概要

意義：本研究によって腸チフス・パラチフスの早期診断、早期治療が可能となり、医学の発展へとつながります。

目的：腸チフス・パラチフスの診断予測因子の検討を行います。

方法：上記期間内に当院で腸チフス・パラチフスの確定診断となった方および発熱を訴えて受診された方の診療録を過去にさかのぼり見直し、データ

(個人情報を除く) を抽出します。

■ お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院

国際感染症センター国際感染症対策室 医長 加藤 康幸 (かとう やすゆき)

総合感染症コース フェロー 的野 多加志 (まとの たかし)

電話番号 03-3202-7181(代表)